

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-1 多様な自然の保全
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

自然環境課長 齋藤晃大

電話番号

0852-22-5346

事務事業の名称	県民参加による自然保護活動事業	
目的	(1) 対象	県民や地域の活動団体
	(2) 意図	地域の自主的な活動により、優れた自然が守られている地域を増やし、多様な生態系を守るとともに、県民参加による調査活動を通して自然保護の重要性を認識してもらう。
事業概要	自然公園等で保全活動を実施しているボランティア団体等と連携した環境整備や美化活動、自然保護レンジャー等による巡視活動、自然保護レンジャー等への研修等を行い自然保護についての普及啓発と自然保護意識の高揚を図る。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	自然保護ボランティア登録者数	目標値	331.0	340.0	350.0	360.0	人
	式・定義	自然保護ボランティア登録者数	実績値	322.0				
				達成率	-	-	-	-
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
				達成率	-	-	-	-

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	3,053	3,903
うち一般財源 (千円)	2,090	2,017

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・自然保護ボランティア(自然保護レンジャー、自然保護指導員、希少野生動植物保護巡視従事者、自然解説員)は322人(H27)。
- ・自然保護ボランティアからの巡視報告件数が185件で前年度と比べて79件減少した。
- ・自然公園等内で6団体で環境整備・普及啓発活動を実施した(環境整備4団体、普及啓発2団体。昨年度4団体。)
- ・自然保護レンジャー研修(15人参加)、自然観察ガイド研修(10人参加)を実施した。
- ・自然保護ボランティア等と連携して赤名湿地(40人参加)、三瓶姫逃池(70人参加)で保全活動を実施した(6月)。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- ・三瓶姫逃池や赤名湿地での自然保護ボランティア、地元関係者、行政機関等と一緒に、保全活動を実施したことで、自然保護やボランティア活動に対する県民意識が高まりつつある。
- ・自然公園等内で地元自治会等が取り組む環境整備・普及啓発活動事例も増えてきている。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

自然保護ボランティア活動の縮小が懸念

②困っている状況が発生している「原因」

人口減少と高齢化による自然保護ボランティアの担い手減少

③原因を解消するための「課題」

自然保護ボランティアの担い手育成、ボランティア参加者の確保、他地域のボランティア団体との連携・協力が必要

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

自然保護ボランティア育成研修の実施、ボランティア活動への積極的な参加、広報・PR等を通して自然保護活動への参加を広く呼びかけるとともに、自然保護に興味・関心のある人の掘り起こしを図り、ボランティア活動への参加を促す。

9. 追加評価(任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。